



秋色のまち 満喫

市内9社寺等 文化財一斉公開

11月19日、20日の2日間、紅葉に彩られた市内9社寺等で「京都やわたの紅葉満喫秋の文化財一斉公開」が実施され、たくさんの来訪者が八幡の秋を満喫しました。

同日イベントは、市内の社寺等における文化財の公開を通じて、八幡の歴史や文化の魅力をもっと多くの人に伝えようと観光協会が毎年主催。

文化財の公開にあわせ「秋の華めぐり」と題し、趣向を凝らした花手水や生け花で来訪者をお出迎え。色彩豊かに飾りつけられた手水舎を写真に撮るなどして楽しむ人でもぎわいました。

また期間中は、各社寺での特別拝観のほか、江戸時代の幕府領の庄屋で国の重要文化財である伊佐家住宅の見学や、国指定史跡にある八角堂の特別公開などが行われ、来訪者は普段なかなか見られない文化財を眺めながら、秋のひとときを満喫していました。



写真右上：花手水を楽しむ来訪者（石清水八幡宮）
同左上：特別公開が行われた八角堂の内部
同右下：紅葉を眺めながら歩く来訪者（善法律寺）

実験道具「エッキー」を使って液状化を観察する子どもたち



こども防災デイキャンプ

小学校で「避難所」防災体験

液状化実験やクイズ学習も

体験を通じて防災を学ぶ「こども防災デイキャンプ」が11月12日、八幡小学校で開催され、市内の小学生45人がさまざまな防災プログラムに取り組みました。

同日イベントは、いつ起こるか分からない災害に備え、子どもたちに防災意識や非常時に役立つ知識を身につけてもらおうと市が主催。

参加者は5つの隊に分かれ、避難所で使用する段ボールベッドやマンホールトイレなどの設営のほか、ポリ袋でご飯を炊く方法などを学びました。

また、地震による液状化現象を知るコーナーでは、ペットボトルに砂と水、建物を模したボールやマップピンを入れた実験道具「エッキー」を作製。一度逆さにした後、ペットボトルを指でたたいて振動を与えると、砂に埋まっていたマップピンが浮きあがってくる液状化の様子を観察し、楽しみながら防災知識を習得していました。

ほかにも、水害の歴史や三川合流に関するクイズ形式での学習、市が災害時等に使用するドローンの紹介などを受けました。

山崎風くん(7)は、「勉強になった。段ボールでいろいろ作るのが楽しかった」と話していました。

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

第50回八幡市民文化祭 展示部門

市制施行45周年 記念コンサート開催

第50回八幡市民文化祭の展示部門が10月29日・30日、文化センターで開催されました。

市や市文化協会が主催。今年展示部門を10月に、舞台部門を11月に開催しました。

会場の文化センターには絵画や洋裁、書など、出品者の力作がずらりと並び、多くの人が見入っていました。

30日には、市制施行45周年を祝い、記念コンサートを開催。同協会民謡部会の演奏で、舞踊部会などが「八幡音頭」など2曲を披露。フィナーレには出演者全員で「ふるさと」を斉唱。会場からは惜しめない拍手が送られ、盛況のうちに閉幕しました。

さらに、京都フィルハーモニー室内合奏団と本市出身の松本ちひろさん、村西俊之さんと、市内中・高等学校吹奏楽部が共演し、「アフリカンシンフォニー」「宝島」の2曲を披露。フィナーレには出演者全員で「ふるさと」を斉唱。会場からは惜しめない拍手が送られ、盛況のうちに閉幕しました。

絵画・洋裁・書：会場内に力作ずらり



記念コンサートの様子